



玉川通信

学校だより NO 2
平成24年 5月号
昭島市立玉川小学校
校長 岡部 操



野鳥を通して自然と親しみ、環境を考える

校長 岡部 操



校庭の若葉の緑も日ごと清々しく感じられる頃になりました。

新学期がスタートして1ヶ月が過ぎました。先月の保護者会と学校公開には、多くの保護者の方にご来校していただきありがとうございました。事後のアンケートへ記載いただいた内容は真摯に受け止め、今後の教育活動の参考にしていきたいと考えます。

また、PTAの役員になってくださった方には、1年間の活動をどうぞよろしくお願いいたします。新年度体制になりますが、子どもたち同様に心機一転していただき、新しい出会いを大切にしていきたいと思えます。

さて、5月10日から16日までは愛鳥週間です。愛鳥週間とは、野鳥愛護のために設けられた週間で、野鳥にとって棲みやすい環境、野鳥をとりまく環境もふくめて自然を大切に守っていかうとする愛鳥思想を広く普及するために定められた1週間です。

野鳥は自然の中で生活し、自然の仕組みを構成している生き物の一つです。他の生き物と色々な関わりを持って自然の中で生活しています。

私たち人間もこの自然の仕組みに深く関係し、自然の恩恵を受けながら生活しています。そのため、野鳥に親しみ、野鳥を知り、野鳥を守ることは、野鳥だけでなく、野鳥を取り巻く自然を保護することになり

ます。今、日本では放射能も含め自然や環境の問題がありますが、オゾン層の破壊や熱帯雨林の伐採など地球規模の環境破壊も大きな問題になっています。

ここで愛鳥週間を機会に、親子でバードウォッチングをしてはいかがでしょうか。日本語では野鳥観察とか探鳥と訳されますが、誰でもいつからでも始めることができ、自然を体験できます。自然と言っても何も遠くに出かける必要はありません。住宅街の庭木や身近な公園にも野鳥はやってきます。

野鳥がかわいい、きれいだなと感じることができれば、これを機会にこの地球を守るためのやさしい生活の方法や、野鳥たちが生活する自然を守るためにはどのようにしたら良いか考えることができると思います。

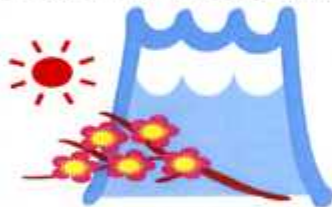
シジュウカラのさえずりで春を知り、ツバメの渡来で初夏を感じます。モズの声で初秋を知り、ツグミの姿で冬の到来が分かります。野鳥を通して季節の移り変わりに敏感にもなれます。昔から花鳥風月を愛してきた日本人です。現代の私たちも身近な野鳥を通して、自然に親しみ環境について考えるきっかけになればよいと思います。

連休も後半になります。各ご家庭におかれましては、お子様とゆっくりと向き合っていたり時間をゆっくりいただき、親子の「心のふれあい」ができることを願っております。

4月27日（金）に行われた離任式、お世話になった方々の言葉です。

三鷹市立第六小学校（連雀学園）
校長 山下裕子先生

玉川小学校にお世話になった3年間は、私にとって刺激的で充実した至福の毎日でした。特に地域・保護者の皆様と作りあげた開校百周年の取り組みは忘れられません。



子供達の笑顔と校庭から見える秀麗な富士山に元気をもらいました。皆様のご支援に感謝申し上げます。

府中第九小学校 副校長 赤松恵子先生

大好きな玉川小学校で9年間、とても充実した貴重な日々を過ごさせていただきました。友達や多学年とかかわり合う中で色々なことを感じ、考え、成長する素敵な子供たちでした。前向きで意欲溢れるその姿からたくさんの喜びとエネルギー、そして美しい歌声からは、心震える感動を、いただきました。保護者、地域の皆様には、大変お世話になりました。ありがとうございました。玉川小学校の益々の発展と、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

国立市教育委員会 指導主事 荒西岳広先生

玉川小学校では1日1日がとても充実していました。それだけに、2年間という期間がとても長く感じられます。運動会や学芸会などの熱い行事。100周年記念式典。そして個性豊かな子どもたちとの学校生活。忘れられない日々です。今は行政職として、様々な場所をとび回る毎日です。現場での経験を生かしながら何とか頑張っていこうと思います。2年間、本当にありがとうございました。



拝島第三小学校 主任教諭 中村将行先生

素敵な笑顔があふれる玉川小学校を離れ、4月から拝島第三小学校に勤務しております。玉川小学校では温かい教職員と保護者の皆様に支えられ、算数少人数担当として7年間お世話になりました。玉川小学校の算数の授業は、友達同士で学び合うことを大切にしてきました。時には私が思いつかなかったようなアイデアも飛び出して、一緒に楽しく学んだことを思い出します。これからもより自分を高めることを目指してがんばってください。

拝島第一小学校 非常勤教員 新井孝樹先生

36年間の教職生活の最後を玉川小で過ごすことができ、幸せに思っています。明るく素直で元気な子供達との出会い。先生方が一つになって（チームで）良い授業を追い求めるアカデミックな学校の雰囲気。すべてが忘れられぬ思い出となっています。開校100周年を共に祝えたことも幸運でした。保護者の皆様には、いろいろな場面で支えていただきとても感謝しております。

清水紀子先生

玉川小学校には、一年間お世話になりました。ありがとうございました。この一年間、皆さんとは、さまざまな学習や運動会や学芸会などの行事を一緒にやりました。一つ一つ、真剣に取り組む時の皆さんのまなざしが大好きでした。そして、やりとげた時の皆さんの晴れ晴れとした自信に満ちた姿を見て、とてもすばらしいなと思いました。これからの皆さんのますますの活躍を期待しています。

品川区立第二日野小学校（日野学園）
教諭 工藤倫子先生

玉川小学校は、校歌の歌詞にある桜や富士山に象徴される、校舎からの四季折々の風景がとても素敵な学校でした。

教師としての基礎となるこの六年間を玉川小学校で過ごせたことは、とても幸せなことであり、大きな財産となりました。素直で可愛い子供たち、様々な場面で支えてくださった保護者、地域の皆様から感謝いたします。

つつじが丘南小学校 用務主事
加藤忠義さん

ありがとう、玉川小学校
3年間私の母校でもある玉川小で、用務主事として仕事ができ、玉川小100周年行事にも参加できたこと、とても充実した3年間でした。
ありがとう
ございます。





入学式

今年も64名の可愛らしい1年生が、入学してきました。式の前には、少しお兄さんお姉さんになった2年生がお祝いの呼びかけを披露し、1年生も嬉しそうに見ていました。校長先生や、PTA会長のお話も、最後まで姿勢を崩さず、一生懸命話を聞いている姿は、大変立派でした。これからの成長がとても楽しみな1年生です。



1年生を迎える会

児童会担当 池田 道

今年も4月18日(水)に「1年生を迎える会」が行われました。これは、新1年生に玉川小学校の主な1年間の行事を、各学年が工夫をこらし、紹介するものです。今年も短い時間の中で、各学年楽しい発表を行いました。また、1年生も元気いっぱい、歌声を聴かせてくれました。

児童会

児童会担当 池田 道

「きずなが深く、優しさあふれる玉川小」

これは、玉川小学校開校102年目のスローガンです。代表委員会で自分たちの学校をどのような学校にしたいのか、意見を出し合い決定したものです。玉川小学校を自分たちの力で盛り上げていこうという想いが、このスローガンを通して伝わってきます。

5月25日(金)は全校児童で昭和記念公園へ遠足に行きます。縦割り班ごとに1～6年生の児童が力を合わせて取り組みます。こうした集団活動を通して、相手を思い合ったり、協力し合ったりすることの大切さを学んでほしいと願っています。

前号でご紹介できなかった学習支援員の皆さん

- ・学習補助員 山田貴子 津守伸諭 ～授業での支援やチャレンジ学習教室の担当です。
- ・国語力育成支援員 石田智子 ～国語力育成を図書の視点から見守っていきます。
- ・特別支援教育支援員 石田智子 ～授業での支援をしています。

